

あなたも1年で管理職になる方法
～管理職の心構え～



<http://www.nomo-solution.com/>

Copyright 2008 Nomo Solution All rights reserved.

管理職になると得られるもの

- 1 . 上司の意見を待たずとも、自分の判断で仕事を進めることができる
- 2 . 社内では自分の意見が積極的に取り入れられるようになる
- 3 . 決裁権が得られる
- 4 . 業者との交渉がしやすくなる
- 5 . 外部でスキルの高い人との交流ができる
- 6 . 外部とのかかわりも多くなり、今まで見えなかった世の中が見える
- 7 . 上に立つと今まで以上に、勉強する習慣がつく
- 8 . 小さいことにこだわらずタフになれる
- 9 . 年収がアップする
- 10 . 堂々としたカッコいい大人になる

管理職になるための心構え

- 1 . 自己の甘えを断つ
- 2 . 自己責任を負う
- 3 . リスクを取る
- 4 . 得ることも失うことも恐れず果敢に挑戦する
- 5 . 自分の仕事を経営の立場から読み取る
- 6 . 会社への貢献としてエネルギーを注ぐ
- 7 . どんな厳しい要求にも応えていく
- 8 . 仕事の優先順位をいつも組み立てておく
- 9 . 仕事に対して説明能力を持つ
- 10 . 組織が間違っていたらハッキリものを言う
- 11 . 個人の感情と会社経営の視点をハッキリ区別する
- 12 . 会社の数字を頭にいれておく
- 13 . 管理職に就いて何がしたいのかイメージする
- 14 . 先頭をきって組織の空気を変えていく
- 15 . 向かう相手が誰であろうが、自分の考えを伝えていく
- 16 . 材を残し継承していく

目次

自己の甘えを断つ.....	5
自己責任を負う.....	8
リスクを取る.....	11
得ることも失うことも恐れず果敢に挑戦する.....	14
仕事に対して説明能力を持つ.....	17
貢献度をアピールする.....	20
個人の感情と会社経営の視点をハッキリ区別する.....	23
管理職に就いて何がしたいのかをイメージする.....	26
材を残し継承していく.....	28

自己の甘えを断つ

「知りません」、「できません」、「わかりません」はもう使えない。
この言葉は、責任逃れの代表です。
今までのことを思い返してみてください。
何度となく使ってきたことでしょうか。
あなたは、無意識のうちにこの言葉を使ってきたかもしれません。
でも、上司の耳には強烈に悪いイメージの言葉としてインプットされています。

質問 1) あなたは、今まで仕事から外された経験はありませんか？

同僚の方が、いつも仕事に恵まれていると感じたことはありませんか？
なぜだか自分ひとり、取り残されていると感じたことはありませんか？

言葉は、消しゴムのように消すことができません。
心理状態や精神状態が素直に言葉として表現されてしまいます。
「つい、うっかり」と思ってもあなたの心の中にある本心だから仕方ないです。

矯正方法をお教えいたします。
ここで再確認です。
あなたは、本当に管理職に就きたいですか？

はい
いいえ

「はい」の方は、次のページをめくりましょう。

いいえの方は、今一度ここで確認が必要です

当たり前なことだと分かっている
そんなこと言われなくてもできている
自分は、新卒の社会人一年生ではない

「警告！」 あなたの上司や、周りを見てください。
頭が固く、変われない人はいませんか？
あなたも環境に汚染されているかも知れません。

自己の甘えを断つ

「調べてみます」、「やってみます」、「お伺いしてもよろしいですか」
この言葉を使うようにしてください。

仕事に参加する

取りかかる

熱意がある

前向きな姿勢の表現方法です。

ここだけは、要注意です。しっかり何度も読み返してください。

例えば)

いま、あなたは上司と上手くいっていないが、仕事の依頼があったとしましょう。
嫌な上司の頼まれごとあなたを、あなたはないがしろにしていますか？
何であんな上司のためにやらなくてはいけないのか、と思っていないか？

× ダメです

悪魔の囁きにのってはいけません！

- ・いま、あなたが苦手としている上司は、永遠あなたの上司とは限りません。
上司とあなたが逆転するときも必ずあります。あなたしだいです。
- ・上司は、あなたの仕事に取り組む姿を見ています。
- ・試されている、見られている、付き合っていきたい社員なのかどうかを。
- ・人間関係が上手くいっていても、甘えは禁物です。
- ・仕事に取り掛かる姿勢というのは、他人を見ても分かるように、立ち居振る舞いにハッキリと出ます。だから気をつけないといけません。
人の行動が鏡になるので、再確認しましょう。

この前向きな言葉を、心から言えるようになってください。

分かっている

できている

当たり前のこと

とっていると落とし穴が待っています。

自己の甘えを断つ

質問 1) あなたは、自分の成長を願いますか？

あなたは、今の仕事が好きですか？

あなたは、自分の職場に対する思いは真剣ですか？

自分で逃げ道を作らない

仕事を通しての自己の成長を真剣に求める

あなたの、自己成長のスピードを上げていく

あなたが、役職を手にして出会う人たちは、あなたよりも年齢の上にキャリアを積み上げている人が、目の前に現れてきます。

上を目指すということは、フェイクでは通用しません。

質問 2) 今の自分を、変えたいと思っていますか？

どんなことでも取り入れたいと思っていますか？

こだわりを捨てて、目指すことができますか？

学歴、資格がなくても取得できるものとは...

あなたの意識を変えてあげること

自己の責任を負う

「仕事の進捗を報告していく」

仕事の報告 結果のみを伝える ×

仕事の報告 進捗を伝えていく

例) 上司から仕事の依頼を受け、出来上がった仕事を提出したとき

「こんなことなら何故もっと早くに言わなかったんだ」とお叱りを受けたことは、ありませんか？

【あなたの考え】

全てを完了して上司に報告すればいいと思った。
口頭で説明したのに、上司が聞き漏らしていた。
これは、あなたの「都合」です。

【上司の考え】

進捗の報告がなければ、仕事はスムーズに進んでいると思います。
でも逆にプロセスの報告がなければ、いつ仕上がるのか検討がつかない。

【結果】

報告が遅れると、小さなミスが大勢の人を巻き込んでしまうこともあります。
上司は、あなただけの上司ではないということを認識する。
口頭の説明は、不十分です。日々の業務の中で薄れていくので、文書、資料を残して進捗を伝えていくことが必要です。あなたの信頼度がグット上がります。

報告・相談・連絡の重要性

仕事の進捗で基本的なミスが多い

報 告：自分の判断で、報告を先延ばしにしない。

相 談：仕事を完成するまでに気がかりなことをまず相談する。

連 絡：上司も待っている。必要なときは迅速に。

自己の責任を負う

上司から仕事を受けたとき

- 1) 受けたそのとき、目を通して再度確認する
- 2) どのように進めていけば良いのか、上司と話し合いチェックを入れる
- 3) 上司のスケジュールを、必ず確認しておく
- 4) 進捗の確認日を、事前に決めておく
- 5) いつまでに仕上げれば良いのか、確認を入れる

どんな仕事でも、受けたときにチェックをする

上司が「いつでもいいよ」と言うのは、あなたの熱意を見ている

仕事をスタート

- 1) 上司から受けた仕事は、優先順位を上げ期日より早く仕上げる
- 2) 上司と事前にチェックをしても、双方の行き違いはありここで埋めておく
- 3) 言われたことをやるのではなく、あなたの意見を入れていく
- 4) もし、いくつかのパターンを用意できるならやってみる
- 5) 上司から突然、変更の指示が入ることは、心得ておく

上司の意見が、コロコロ変わっても怒らない

上司も新しいアイデア、発想が浮かんだことに応援する

何故なら、お互い「いい仕事をする」ことが会社への貢献になる

完成むけて

- 1) スピードを上げていく
- 2) 確認こそが、いい仕事へのつながりとなる
- 3) 提出時、上司が不在なら必ずメモを残す

自己の責任を負う

「上司の指示をいつまでもあてにしていますか」

毎日の仕事が、業務をこなすだけのベルトコンベアのようになっていませんか？
例えば)

「言われないと分からないのか」と上司から言われた経験はありませんか？
あなたにとっては、問題なく仕事を処理してきたかもしれませんが。
社会人として数年経った社員は、それでは通用しません。

仕事のできる社員は、いつも一歩先を行っているのは何故なのか？

- 1) 仕事のできる人より、自分は能力が低いと思わない
- 2) 仕事を準備する上で、良い結果が出た場合、更にスピードを上げる準備をする
- 3) 仕事を準備する上で、悪い結果が出た場合、次の手を用意しておく
- 4) 問題が発生したとき、すぐ上司に報告し事後報告の手遅れを防ぐ
- 5) 「何回言ったら分かるんだ」を防ぐために、上司の指示は必ずメモを取る

「仕事を軽く扱わない」

小さなことが、大きな失敗につながるという経験をした人は、沢山います。

カンタンな仕事 = 単純なミスをして見落としてしまう
いつでもいい仕事 = 先延ばしとなり、なかなか手がつけられなくなる
人に任せた仕事 = サブに任せてチェックを怠った

人のせいにはできません。責任を負うのはあなたです

仕事の優先順位を紙に書き、終了したものから消し込む

紙に書く習慣を持つと、忘れないし、消し込むことへ情熱が湧く

リスクを取る

「困難な仕事をあえて引き受ける」
ビジネスをハードに楽しくやる！

メリット

あなたのブランドも高まる
どんなことにも立ち向かえる精神力がつく
今後、あなたの仕事がやりやすくなる

行動を起こしてください

デメリット

体力を消耗する
社内のバッシングを受ける
試練が待ち受けている

そう長くは、続きません

例えば)

あなたの上司がリスクも取らず正論を言っていたとします。
数年後の自分を想像してください。同じ環境いると、影響されてきます。

- 1) とばかりはゴメンだ！
- 2) くじ運が悪い、何で自分だけ？
- 3) 人から嫌われてまで、辛くてやってられない？

- ・ 誰もやりたがらない仕事は、ハッキリ言って宝の山です
- ・ あなたのスキルは上がり、企業ブランドも高まります
- ・ 社風は、そこで働く社員が作り上げていくものです

迷ったときは)

困難なほうをあえて選択する
厳しい要求を歓迎する
自分の仕事やスキルにこだわり実行する

リスクを取る

「ビジネスチャンス」

企業として必要なこと

新しい道の開拓

企業として必要な人材

新しい道を拓ける人材

あなたが手を挙げてみませんか？

必要な人材とは

会社も時代の変化に対応していかななくてはなりません。それを誰かがやるだろう。といった他人事にしないで、自ら手を挙げ出る杭となっていく。自分の成長だけではなく、会社の成長も願っていく。

欲しい環境が手に入られます

ビジネスチャンスとは

受身では、到来しない。目の前にある改善点に目を向けることがチャンスにつながる。運の悪い、厄介な仕事をクリアし、日の当たるチャンスに変えていく。厳しい要求をクリアすると、ビジネスチャンスが待っている。

職場とは

活躍の場所です。手を抜かずやっていたら、必ず道は開けます。社会人として成長でき、報酬もあります。自分のスキルを上げる絶好のチャンスが、リスクを取ることです。社内で目立ちますが、ビジネスチャンスというのはこういうことを言います。楽で無難な道を選んでも自己成長は、得られませんしチャンスも到来しません。

あなたの勇気が、あとに続く人への道となります

年齢を重ねるごとに、自分以外の周囲のことに目を向けていく

リスクを取る

「出ないと杭は目立たない」

会社で、みんなとうまくやっていきたいと思うかもしれません。

会社は、実績を残すことが求められます。

人間関係やコミュニケーションと仕事で実績を残すことは区別してください。

あなたは、今の自分の実績に満足ですか？

はい

いいえ

もっと積み上げたい

1) 自分の意見を持つ

客観的にとらえて、意見と文句の区別をつける

個人の感情が入ってしまいがちになります。

会社としての最良の方法を先頭をもって考える。

自分を先頭に持ってきて考えると、ただの我がままになります。

周りに同調せず、自分の言葉で伝えていく

会社は、あなたの意見を求めています。賛成票を集めているわけではありません。

社内で群れを作らない

同僚が間違っているとき、かばってしまい判断を鈍らせてしまいます。

職場の友は大切ですが、一步引いた目も必要です。

何故なら、会社にとってそれが正しいことなのかが重要です。

コミュニケーションと仕事で頭角を現していくことは別です。

あなたに反対意見があったとき、周りの人の意見に左右されないように。

頭角を現している、仕事の友と触発しあう。

得ることも失うことも恐れず果敢に挑戦する

「会社の環境を変える」

誰しも、今勤めている会社に何かしら文句はあります。

- ・経営改善
- ・重圧をはねのけたい
- ・社内に危機感がない
- ・社員の仕事に対する姿勢が怠慢
- ・社内のモチベーションが下がっている

けん引役を引き受けて、全てを巻き込んでいく。一番早く変われる方法です。

長いものに巻かれていては、いっこうに改善されません

上司の歩調で歩いていく、不況に巻き込まれたらあなたは誰を恨みますか？

「何も言わないということは、全てを受け入れる」ということです。

周囲からのバッシングを受けても一時です

仕事から外されるという恐怖よりも、2～3年後の恐怖を考える

自分で不況を作らない

会社の不満をこぼしても、何も生まれません

外的要因で、いくらでもモチベーションは下がっていきます。

前向きな行動を取っていくと、会社の不満よりも自分の能力不足に不満を感じます。

自分の不足部分を強化する

会社の不満が先行すると、自分の修正に気づかなくなります

上司の不満が先行すると、仕事に支障がきたします

あなたの行動で空気感染していく

同じ志を持った社員は、必ずいます。あなたが先頭をきると、後に続いてくれます。

まず、あなたが行動で示していく

クリアした成功体験を伝えていく

スクラムを組んで、一気に環境を変えていく

得ることも失うことも恐れず果敢に挑戦する

「仕事を通して自分の価値を高めたる」

今の仕事が好きで、情熱を持って取り組むことができますか？

検証) 常に次の準備を心がけている

役立つことは、自分だけのものにしない

自分が得た知識や情報を発信し、社内で公開している

専門性を発揮し個性を打ち出している

経営者の感覚で仕事をとらえている

あなたの仕事の幅を広めるために、経験を積む

経験を積むのは、時間の積み上げと買って出ること

結果) 次の仕事にすぐ取り掛かりやすくなる

能率アップで社内で役立つものを、伝えていくと社員のやる気が変わる

外部、内部で得た情報を伝えていくと、あなたにも情報は入ってくる

ひとつでも得意分野を作ると、信頼度が高まる

会社としてのスタンスで仕事をとらえると、小さなことで立ち止まらない

常に問題意識を持つ

仕事のスタンスが、広くなる

仕事は、やらされているのではなく、こなしていく。

どんな仕事でも引き受けていく。仕事を選ばない。

自分自身の存在感を示していく。

どんな対応からも逃げない姿勢と強さを出していく。

得ることも失うことも恐れず果敢に挑戦する

「実績を作る」

誰もが、経験や実績をほしがります。経験は、買って出ないと得られません。

年数が経てば、自動的に経験が積まれるわけでもありません。

何年同じ仕事をしていても、ミスを繰り返す人がいます。

ミスに対しての問題意識のなさが、成長を止めてしまっています。

あなたの経験が、どのような形で会社に貢献できたのか。

会社は、社員に期待をします。活躍できる社員なのか、活躍は期待できないのか。

実績の積み上げ方

業務の改善すべき点は、提案し自ら取り掛かる

新しい業務の構築をする

社員が真似て出来るスタイルを作る

果敢に挑戦するとき

邪魔が入ります。人であったり体力であったり私生活だったり。

寝食を忘れるほど、仕事に没頭するときも必要ですが、ここぞとばかり邪魔が入るので目標をぶれさせないようにしてください。

仕事で成長していくあなたを、妬んだり恨んだり嫉妬したりいくらでも邪魔は、入ります。

何事も恐れないとき

捨て身になれるほど、踏ん張ってください。

社内、社外での交渉ごとにハッキリとものが言えるようになります。

仕事に対して説明能力を持つ

「説明するとは」

自分は、理解していても相手に伝わらなければ、意味がありません。

相手の能力が低いと、自分を過信してしまえば、あなたは自己満足にひたりあなたの評価は口コミで広まりません。

物事は...
・平たく
・分かりやすく
・時には例題を出す
すると相手に伝わります。

陥りやすい罠

自分が理解していることは、上司もわかるだろうと思込まない

注意) 上司だからと言って説明を省かない
あなただけに構っていられるわけでもありません
以前に口頭で伝えた説明は、再度伝えましょう

1度の口頭の説明では、不十分だと認識する

誰にでも分かりやすい表現方法で説明する

注意) 感情を入れすぎない
聞くに耐え難い態度でものを言うと、聞く方もいやになります
逆に聞かれなくなったとき、あなたに警告を伝えてくれるシグナルです
理論的で専門用語やニュース性を語っても、誰の耳にも届きません
誰かに伝えたいのか、自己満足を得たいのか、明確にしましょう

あなたの説明能力を、理解できるか社内で評価を仰ぐ

欠点がすぐに判明し、軌道修正ができる

仕事に対する欠点も同時に確認することができる

仕事に対して説明能力を持つ

準備

上に立つ前に、説明能力を身に付けておかないと手遅れになります

注意) 上に立ったとき、イエローカードを出してくれる人が少なくなります
あなたが求めない限り、進んで注意をしてくれる人は、現れません
あなたの姿を見て、部下のスキルさえ下げてしまいます
不出来な上司を見て、社内のモチベーションも下げってしまう
管理職としての評価も下げってしまう

部下に、間違っただ手法を継承させてはいけません

その為には、自分の負の部分を実覚して修正をかけておく

部下があなたに手もみをしてくるような、無様な社員を作らないためにも

社内でできないことは、社外に出て恥をかかだけになってしまいます

注意) 会社のブランド力があっても、社外の評価は手厳しいのです
会社のイメージダウンの損失は大きい
人材の力は、会社の体力を左右する
社外の人間と真剣勝負が待っている
会社イコール、あなたの対応力が見られる

十分な説明は、信用を勝ち取る

信用は財産となり、あなたの声のアドバイスが求められる

社外の困難な取引に出くわしても、パニックになることはない

仕事に対して説明能力を持つ

習慣にする

普段から説明することを、習慣にすればあなたの言っていることに価値がある

利点) 「何故...」という問いかけが、あなたを問題意識のある人間へと導く

「その必要性は...」という問いかけが、表現を用意する人間へと導く

頭で分かっていることを、言葉にすることで意識が変わる

誰にでも分かりやすい表現を使う習慣がつく

抽象的な表現から、リアルな表現へと変わっていく

最初から上手くいなくてもチェックをしていく

上達すれば、自信になりプロジェクトの参加も可能となる

仕事に対して意欲があっても、表現をしなければ獲得はできない

自分を育ててくれた会社に対して、あなたは貢献しなければならない

投資をしなくても自分でモチベーションを上げることができる

利点) 仕事のために、勉強をするようになる

社外に出ても「手強い」「できる」と思われる

単調な仕事のミスを防ぐことができる

表現をしてこそあなたのスキルが明確になる

視野が広がり仕事がよく見えるようになる

まず、実行に起こしてみる

相手が理解しなければ、表現方法を変えていく

貢献度をアピールする

「自分をプロデュースする」

仕事参加へのアピール	根回しをする	×
仕事参加へのアピール	発信する	

あなたのできるを発信しなければ、目に留めることができない。

プロジェクトに参加したければ、積極的に自分を使うことを売り込まなければいけない。

あなたを使うか使わないかの権限は、上司にある。

**どんなに優れた才能を持っていても発信していかなければ、宝の持ち腐れにすぎない
評価されるには、自分をプレゼンする。**

使いたくなる人材

受身でない、自ら行動を起こせる

どんな仕事でも腐らずに業務を形にする

1度仕事から外されても2度目のチャンスの為に準備をする

説明は流暢でなくても、伝えることを省かない

労を惜しまない

自分をよく見せようとし過ぎない

責任逃れをしない

新しい仕事を歓迎する

評価されることでやりがいが出てくる

日頃の人間関係が大きなビジネスチャンスの到来となる

自分の行動により影響を与え、自らの働きかけ次第でチャンスを得る

貢献度をアピールする

仕事のスタイルを見直す

- ・仕事のスタイルを今までのものから 180 度変えてみる
- ・上司に説明するときは、口頭だけやめて簡単な資料を作ってプレゼンする
- ・新しい仕事の提案しメリット、費用対効果を打ち出す
- ・削減できる経費は、積極的に提案していく
- ・業者間の情報は、リアルタイムに上司にあげる

【周囲の声】

誰かを蹴落としてまでという言葉と、あなたをアピールすることとは別物
上を目指さない人、会社へ貢献しようとしらない人の代名詞
上に上がろうとする人は、ほんの一握りに過ぎない

モグラ叩きのような潰し合いではない

未熟な経験でも自己管理能力が長けていれば使いたくなる

人より努力している人間は、会話をせずとも立ち居振る舞いに出る

【今の仕事のナンバーワンへ】

今の業務が中途半端であれば、次のステージは望めない
負の部分を上司に聞いて修正をかけていくのが一番の早道

- 1) 自分の不出来を快く受け止める
- 2) そのとき上司の欠点を引き合いに出さない
- 3) 固定観念を取り払う
- 4) 他社のビジネスモデルを学ぶことできっかけを掴む
- 5) 新しいオリジナルを作る

業務のスタイルは、人が作ったもの。また新しくリニューアルできる。

貢献度をアピールする

ビジネス運

- ・ どう見られているかよりどう見られたいか
- ・ 必要なスキルは習得する
- ・ やりたい方向へ仕事を設計する
- ・ 設計した仕事を人に先駆けて上司に伝えていく
- ・ スキルはなくても新しい仕事にチャレンジしながら磨ける
- ・ 常にベストを尽くせば、見ている人は見ている

例えば) 業績の低い店舗を任されたとき

チャンスと捉える人.....実績を出すチャンスと考える
試練と捉える人.....イジメ、左遷と考える

前向きな人は、全ての出来事の中にチャンスを見出すことができる

いかにチャンスを掴み仕事を波に乗せるか

- ・ 常に提案をし続ける
- ・ 目先を変えられる柔軟性がヒットにつながる
- ・ 自分の信念を裏付けるデータを作る
- ・ 基本に忠実、当たり前のことをやり抜く
- ・ 高いレベルへチャレンジする
- ・ 仕事のプロフェッショナルなる

例えば) 業務のタイムリミットが迫り暗雲が立ち込める

出来る人.....万が一ダメになった場合に備え、次々シナリオを用意する
出来ない人.....パニックになりミスを犯してしまう

出来る人は、ニーズに応えいくことに気づく

個人の感情と会社経営の視点をハッキリ区別する

「会社の目指す方向へ」

企業として最良な手法を判断しなければならない

- ・ 周りの管理職に同調して判断をにぶらせていないか？
- ・ 個人的意見、感情が入りすぎてジャッジを間違えていないか？
- ・ 世の中も見ず知識が少なすぎてチャレンジを忘れていないか？
- ・ 世の中のスピード早く対応が遅くなりタイミングを逃していないか？
- ・ 向かう相手が誰であろうと、組織が間違えてもハッキリものが言えるか？

スピードとタイミングが勝算を分ける

取締役になれば、経営責任を問われてしまう

ポストに就いてから認識すると遅すぎる。今から経営者感覚を持つ

あなたは今、経営者感覚を持っていますか

はい

いいえ

得るものも失うものも恐れない経営者の感覚を持つ

例えば)

今だけの仕事をこなすのではなく、数年後の将来の人生の地図が書けていて会社を担っていこうという意志。

- 1) 会社としてのスタイルを自分たちで作ろうという意欲
- 2) 戦略を立て明日何をすべきかを具体的に示す
- 3) あなたの主体性が会社を変える

- ・ 社会の要求をすばやく察知していく
- ・ 与えられた好機は活かしていく
- ・ 自分の仕事でナンバーワンになる

個人の感情と会社経営の視点をハッキリ区別する

「部下とのかかわり方」

部下の成長を止めない付き合い方

求心力

見られているという緊張感

見てくれているという安心感

若手が必死に上を目指す雰囲気

自ら歩みよるコミュニケーション作り

素早く若手の頭脳と戦力を見つけ出す

前向きな失敗は許し次のチャレンジで挽回させる

境界線

手を尽くしすぎない

許してくれるという甘えが成長にストップをかける

いつも小さなミスをかばわない

愛は盲目と同じ、部下も自分の負に気づかなくなる

責任を持たせる

ミスを減少させていくには、責任を負わせること

能力を高めるためのノウハウ

ミスの対処法

発生時に、「何故、こうなったんだ？」と説明をさせる

部下は責任逃れをしなくなる

「確認不足でした」と自ら反省し、ミスが減少していく

見過ごしていくと自分を正当化し、責任逃れをする

「でも...」、「あの時...」、「私だけ...」部下だけが悪いわけじゃない

一緒にかかわった、あなたがそうさせてしまった

かわいい部下だからこそ、成長を止めてはいけない

物を言う上司、一緒に成長してこそあなたの姿を見て真似ていく

個人の感情と会社経営の視点をハッキリ区別する

「業者とのかかわり方」

若くしてポストを手に入れると、相手のリアクションもリアルに変わってくる。

- ・手ごわそうな奴
- ・できる奴
- ・頭のきれいな奴

相手は判断をしてくる。

ただのイエスマンでポストを手にした人間は、メッキが剥がれていく。

自ら恥をさらすことになる。

実力で手に入れた人間は、相手も人目で判断できる。目の力の違いを！

あなたの会社に対して有益なる業者の判断を下さなければならない。

手もみ営業をしてくる業者……相手も売上獲得にあせっている。

情に流されず、良ければ取引をする。

手もみ営業は、仕事の精細に欠けるところがある。

メリット打ち出し型業者……取引をするのに、金額は高くて躊躇してしまう。

メリット、費用対効果がプラス、マイナスゼロさえある。

広告効果のメリットを重視するなら、まずスポットで試して継続すると反応がわかる。

親方日の丸型業者……業者の器は、デカイ。

提案型担当者：全てをNOと言わず、取引の金額が低くても何パターンの提案をしてくる。

大物食い担当者：取引の金額が低いと、はじめから取引をする意思もなく会社の決算書を見て器の違いを語る。

管理職に就いて何がしたいのかをイメージする

「リーダーシップ」

リーダーとは、部下の前向きなミスを許し責任をから逃れられない
自分の力で環境を作ることができる
それでも若くしてなろうと思うなら可能である

周囲のやっかみなど人間関係を含む試練をこなし「頭角」を現す

偉くなれば影響力のある仕事ができる

リスクも大きい影響力の方がはるかに大きい
コメント力で発信したものは、継承されていく

社員のモチベーションを上げたい

前向きな姿勢は空気感染していく
よどんだ空気を引き受けて浄化することができる

頑張っている社員に報いてやりたい

リーダーになると部下の人事も評価できる
学歴、資格がなくても仕事の姿勢で評価する仕組みを作れる

結束力を高め活気を取り戻したい

上司が変われば、社員の仕事に対する意欲も変えられる
身についた習慣を新しいものへ転換するには、まず対話から

目指すリーダーがいらないから自分になる

社内に目標としている上司がいなければ、他の社員も同じことを思っている
後に続く人の希望につながる

自分が適任だと思う

今の上司に不満があるのなら新しい形を見出したほうが社員のためになる
社員の声を吸い上げていく体制をとっていける

管理職に就いて何がしたいのかをイメージする

「キャリアの階段を上る」

鍛錬しつづける人に限界はない

今の幸せよりも3年先、5年先の幸せを求めて挑戦

社員が独立心を持って仕事をする方が企業の活性化につながる

自分で腕を磨いた人が活躍できる時代

人生で何かを成し遂げる

自分のキャリアは自分で作る

限界を設けない人は、できる・できないを考えない

目標に向かうことに焦点を合わせて努力を惜しまない

その努力の出し惜しみをせず、社内を活性化させる

自立ができている

会社、上司に依存せず自ら行動を起こし有言実行型

自立できている人は、業務の進行に現れる

試練に屈しない

志と目標が定まっていれば潰れることはない

執念が人生を変える

夢と現実の落差

簡単に夢に近づけるわけがない

遠くにあるからこそ現実の出来事に振り回されず、日一日と近づいていく

材を残し、継承していく

「上司」

管理職ともなれば、あなた以上の上司は取締役か代表の場合もある。
尊敬できる上司がいても、いなくても志のスクラムを組んでいかないといけない。
溝があれば、それを埋めていく努力をする。上司が煙たがっても諦めない。

コミュニケーションは

- ・自ら歩み寄る
- ・新聞や雑誌の話題で触発し合う
- ・たった一言でも声をかけていく

すると距離は縮まります

努力を惜しまなければできないことはない

「うちの会社には摘要しない」頭の固い上司につきもの

「言っても無理だ」、「届かない」、「分かってもらえない」と最初に心得ておこう！

上司を変えていくのには、多大なエネルギーを要してしまう

「過去の経験」、「会社の体質」、「今まで報われなかったことへの怨念」
上司でさえ、やっても無理・ムダと固まっているのが現実。

上司が変身するときとは...

若手の台頭。上司が手をつけられなかったことを、部下が乗り越えて形にした姿を見たとき。そのエネルギーを吸収することになる。

そのとき、初めて強力なタッグ・スクラムを組むことができる。

会社の成長スピードも上げられ、部下に伝染し浸透していくことになる。

スクラムを組んだ後...上司の頭が柔らなくなる。上からものを言わなくなる。

あなたの意見に耳を真剣に傾ける。

スピードが速くなる。勉強している姿を目撃してしまう。

材を残し、継承していく

「部下」

～出る杭タイプ～

ドンドンステージに上げていく。舞台に立たすことで責任を経験させてやる。

ステージを与えなかったら、口達者な生意気な人間のレッテルを貼られてしまう。

長 所

ハングリー精神が旺盛

向かっていくことに躊躇しない

自分自身でエネルギーを作っていける

自分で言ったことに責任を持つ

問題意識があり、ハッキリNOと言える

計画、実行、検証ができる

仕事の優先順位をもっている

スピードが速い

短 所

コミュニケーションが不足しがち

ストレートにものを言う

何事にもスピードがあり攻撃的

自分に限界を設けないため相手にも厳しい

上司の役職を気にせず対等にコメントを求める

- ・ 過信をしていたら早いうちに鼻は、折られたほうがいい
- ・ 若い世代の台頭がなければ、企業の体力は維持できない
- ・ 自分の席を脅かすほどの部下を快く歓迎しよう

人が変われば、業務のスタイルも変わる。自分好みを押し付けないように。

全社員の中で、出る杭社員のほうが少ないのが現状

使わないと損、行動に起こすチャンスを与え新しいスタイルも築ける

材を残し、継承していく

~コツコツタイプ~

与えられた仕事を手抜きせず 100%打ち込むが、社内で目立つことは避けて通る
自分で自分のタイプを正当化し、そんな器じゃないとチャレンジを避ける

でも見落としてはいけない。ダイアの原石かもしれない

見えない才能があり、当の本人が過小評価し過ぎている

何も言わないということは、全てを受け入れたということを理解させる

基本的な力をトレーニングする

- 1) 上手な人の仕事ぶりを、よく見てまねさせる
- 2) どこをまねるか選択できる目を養わせる
- 3) 仕事を組み立て、手はずを整えさせる
- 4) 自分で行動計画をプログラムさせる
- 5) 表現をさせる、コメントを求めていく

コツコツタイプによくある傾向は、自分自身に限界を設けてしまう
仕事の責任を負うことは、自分には出来ないと判断してしまう
基本的なトレーニング方法で意識を変えいき、「上達の速い人」となる

自己投資

- 1) 勉強は、次なる行動への「とっかかり」になる
- 2) 本や新聞を読むことは、世の中の流れをある程度知ることができ、そこから自分の
発想、ビジョンなども生まれてくる
- 3) 自分への投資は財産になる